

2011年12月26日

NEWS RELEASE



株式会社アマダ
担当 広報・IR部

URL: <http://www.amada.co.jp>

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

中国市場の拡大に向けて アマダ 旧上海万博会場で大規模展示会を開催 — 中国全土から金属加工業者 6,000 名が来場 —

アマダ（社長 岡本 満夫）は、12月17日から19日の3日間、中国・上海の「上海万博会場世博展覽館」を借り切り、中国の行政要人、業界要人、顧客を招いてプライベート展「AMADA Innovation Fair2011 in China」（AMADA 中国展 2011）を盛大に開催した。約1万平方メートルの出展スペースにはレーザマシン、パンチ・レーザ複合マシン、パンチングマシン、ベンディングマシン、プレスマシン、工作機械、切削・構機など50種類を超えるマシンとソフトウェアなど、アマダの全ソリューションを展示した。期間中の来場者数は予想を上回る6,000名となった。

アマダは1982年に中国の顧客に1号機を納入して以来、1993年から北京、上海、深センなど中国沿岸部を中心に現地法人化を進め、金属を加工する機械を製造・販売してきたが、成長を続ける中国内陸部のインフラ整備として鉄道車両やビルの建具やサッシ、電気設備などの金属製品の加工ニーズが見込まれることから、さらなる金属加工機械の総合メーカーとしての知名度の向上とアマダブランドの浸透を図る目的で、AMADA 中国展 2011を開催した。また、日中の技術交流も積極的に行われ、学術関係者による「中国レーザ加工技術の動向」など、多数の技術セミナーも開催された。日本のメーカーが単独で旧万博会場を利用し、これほど大規模な展示会を開催するのは初めて。

アマダは2010年度の売上額1,631億円を2013年度に2,500億円とする中期経営計画を進めているが、中国は150億円から350億円と2.3倍と、他のエリアに比べ大幅な伸びを計画している。

以上